

新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止対策
(サッカー)

1. 密を避けた具体的な運営方法

- (1) 無観客試合。
- (2) 帯同者（指導者、審判員、保護者）の人数制限。
- (3) グラウンド内入場・退場は1方向通行とする。
- (4) 試合数を減らすため、トーナメントはフレンドリーマッチはなしとし、負けたら速やかに帰る
- (5) 試合延長戦はなく、PKで勝敗決定。
- (6) 開会式なし。表彰式なし。表彰状と楯は、チームへ渡す。
- (7) 集合写真は、本部で行わない。
- (8) ベンチは指導者だけ、控え選手は、間隔を開けて座る。
- (9) ボールやベンチ等こまめな消毒（試合ハーフタイム、試合後）。
- (10) 主審は、笛で、電子ホイッスルがあれば使用する。
- (11) 本部には手消毒用スプレーを置いておく。また、本部役員の方はマスクとファースフィールドで対応する。
- (12) 当日の書類確認、前日までにメールなどで確認し、当日は、健康管理チェックシートの当日分確認。体温の測定（非接触体温計で）を観客席入場前に、出入り口で行う。
- (13) 会場待機場所をできるだけ間隔を開けて、待機させる。
- (14) 会場に到着してから、スムーズに、選手の試合の支度、ウォーミングアップを行い、試合をするまでの最短の時間を考え、いつ頃までに、会場へ到着するかを決定する。（待ち時間を少なくする為）

注) コロナが落ち着いたらその時、見直しをする。

2. その他競技上注意すべき点

- (1) 試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手は実施しない。
- (2) 両チームベンチへの挨拶を実施しない。
- (3) 全選手が密集・密接する円陣や声出し、整列などは控える。
- (4) ハイタッチ、抱擁を行わない。
- (5) ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない。
- (6) 口に含んだ水を吐かない。
- (7) タオル、ボトルを共有しない。
- (8) ピッチ上でチームメイト、審判団と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する。

(9) ベンチではマスクを着用し、会話を控える。

※発熱等体調不良の場合は、参加をご辞退ください。

また、当日会場での発熱が認められた場合は、チーム全体の参加をご辞退いただきます。

※健康管理チェックシート（単位団・個人）の提出がない方は会場に入ることができませんので、必ずご持参ください。